

2023年8月9日

SAAJ NEWS RELEASE

公開草案「SASB®スタンダードの国際的な適用可能性を向上させるための方法論及び SASB スタンダード・タクソノミのアップデート」について意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：小池 広靖 野村アセットマネジメント CEO 兼代表取締役社長）は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が2023年5月11日に公表した公開草案「SASB®スタンダードの国際的な適用可能性を向上させるための方法論及び SASB スタンダード・タクソノミのアップデート」（以下、本公開草案）について、8月9日に意見書を提出しました。

【意見書のポイント】

- ISSB が2023年6月26日に公表した「IFRS S1号『サステナビリティ関連財務情報開示に関する全般的要求事項』」では、企業は、サステナビリティ関連のリスク及び機会を識別にあたり、IFRS サステナビリティ開示基準に加え、SASB スタンダードの開示トピックスの適用可能性を参照し考慮することが要求されている。本公開草案の提案は、SASB スタンダードの米国固有の指標を、限られた期間内で国際的に適用可能な指標に変更するという、的を絞った狭い範囲のプロジェクトに留めていると、我々は理解している。この前提に立った上で、本公開草案の提案に、我々は概ね同意できると考えている。
- 一方で、本公開草案では、SASB スタンダードのさらなる向上を検討するにあたり、ISSB が検討すべき具体的なコメント又は提案が求められている。これについては、ISSB が2022年3月31日に公表した公開草案「IFRS S2号『気候関連開示』」に対する我々の意見書（2022年7月29日提出）で主張した SASB スタンダードに関する3つの課題について、改めて主張する。

【添付資料1】 [Re: Exposure Draft “Methodology for Enhancing the International Applicability of the SASB® Standards and SASB Standards Taxonomy Updates”](#)

【添付資料2】 [公開草案「SASB®スタンダードの国際的な適用可能性を向上させるための方法論及び SASB スタンダード・タクソノミのアップデート」について](#)

本件に関するお問い合わせは下記まで

SAAJ 公益社団法人
日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第2部長 土谷 敬